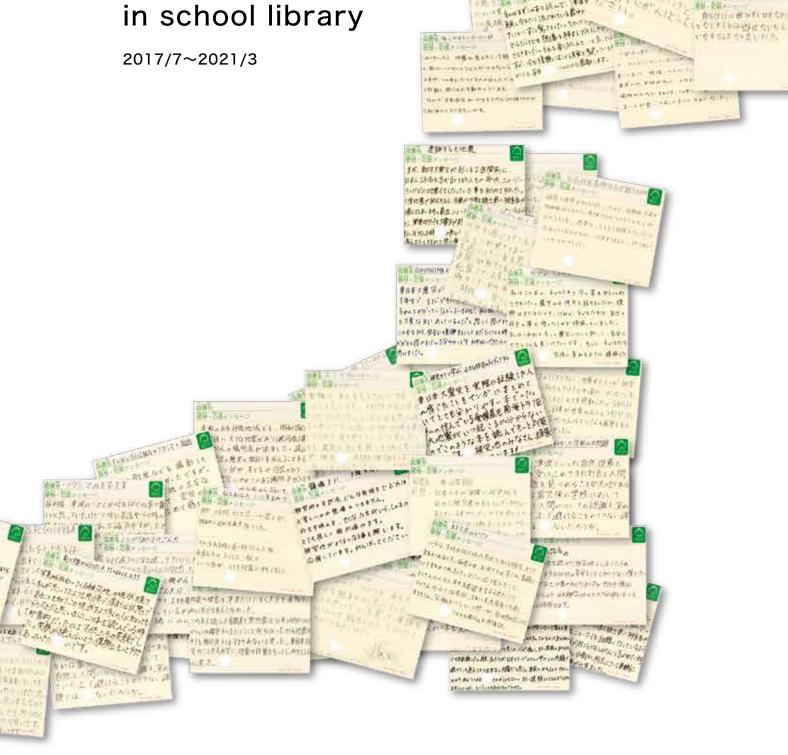


東日本大震災復興支援活動

笑顔を届けるプロジェクト

in school library



東北 んかんもんかった さく息には たくてんの 夜火がすかり あることをはじかがらた。 FLT 単独の人たちも かんな FREIでか、

TOLET TO

TRANS SARASAN The factor of their states

Britis and when the

RE

笑顔プロジェクト製作委員会 主催

## contents

ごあいさつ ······	1
笑顔を届けるプロジェクト in school library について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
開催校一覧	3
開催各校 -小学校- ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
開催各校 -中学校・高等学校-・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
開催図書館 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
プロジェクトご案内パンフレット	23
笑顔文庫図書と書架の寄贈並びに感謝状贈呈式	24
書籍セット一覧	26
ご参加いただいた図書館の皆様へ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	38
編集後記	40

## ごあいさつ

キハラ株式会社 代表取締役 木原 一雄

これまでキハラ株式会社は図書館業界の創造に貢献する製品づくりとともに、さまざまな社会貢献活動をすすめてきました。

2011年3月11日の東日本大震災以降、復興支援活動として、被災地の図書館に直接ブックトラックを届ける「ブックトラック支援」、被災地の学校図書館に図書管理ソフト ELISE-Egg3 kizuna版を届ける「学校図書館げんきプロジェクト」、被災地の子どもたちの描いた絵をブックトラックにして地元の図書館に届ける「笑顔を届けるプロジェクト」、地震や津波で毀損した図書を修理する技術の普及のため、被災地で行った「製本講習会」、2013年~2014年にかけては日本出版クラブ様と共に3.11以降に出版された本を一堂に集めた展示会「本の力巡回展」など、毎年さまざまな活動を行ってまいりました。

東日本大震災以降も地震、噴火、豪雨などの自然災害が後を絶ちません。学校では防災 や自然災害に関する授業などが盛んに行なわれていますが、図書室に置ける関連書籍は限 られているのが現状です。

そうした状況の学校図書館において、未来を担う子どもたちに東日本大震災でなにがあったのかを広く伝えていくことは大切な使命であると捉え、2015年より「笑顔を届けるプロジェクト in school library」をキハラ被災地支援活動として開催し、2020年3月までで、全国41校と2機関にご参加いただきました。

この活動の2015年から2017年の記録については、既に2018年4月に報告書を発行させていただき、弊社ホームページ上に電子書籍としても掲載しております。

本紙は、その2冊目となり2017年7月から2021年3月までの活動報告です。

今回、「笑顔を届けるプロジェクト」の結びの活動として、東京新宿ロータリークラブ様のご協力もいただき、新しい書籍を加えて、1,426冊の震災関連図書と全国の子供達からのメッセージカード1,634枚を、宮城県気仙沼図書館様へ「笑顔文庫」として寄贈させていただきました。

この10年間活動を継続してこられましたのは、全国の多くの方々のお力添えのおかげです。心より感謝しております。笑顔文庫が、東日本大震災で起こったことを風化させずに次世代につなげる一助となり、よりいっそうの素敵な笑顔に満ちた未来がつくりだされますことを、笑顔プロジェクト製作委員会メンバー一同、心から願っております。





### 東日本大震災復興支援活動

## 笑顔を届けるプロジェクト in school library について

### 企画概要

2013年8月1日から11日までの11日間、日本出版クラブ会館で開催された「3.11以降の全出版『本のカ』展」では、東日本大震災発生より2年間に出版された関係書籍が1470タイトル、4500冊が集まりました。9月からは公共図書館・大学を中心とした「本の力巡回展」として2014年6月までの間に11機関にて開催し、11月には第15回図書館総合展特別展示としてご紹介しました。

2015年6月には1年間の準備期間を経て、小・中・高等学校を対象とした「笑顔を届けるプロジェクト in school library」を始めることができました。本の力展の中から東日本大震災関連書籍150冊を4セット、計600冊を選書アドバイザー齋藤紀子氏が選書し、配架用ブックトラックと共に貸し出すという内容です。

日本全国よりお申込みいただきました開催校では、震災当時の資料による授業との連携や防災教育にも活用されています。本を読んだ生徒さん達からは、専用の応援メッセージカードに心温まるメッセージをいただきました。

数多くの応援メッセージカードから、各学校3枚のカードを本誌にて皆様にご紹介いたします。





笑顔プロジェクト製作委員会によるメッセージカード選出作業





## 開催校一覧

## 〈小学校〉

掲載頁	学校名	開催期間	都道府県	書籍セット
P.4	昭和学院小学校	2018/5/10 ~ 2018/6/29	千葉県	А
P.5	鹿児島市立桜峰小学校	2019/1/17 ~ 2019/2/22	鹿児島県	А

## 〈中学・高校〉

掲載頁	学校名	開催期間	都道府県	書籍セット
P.6	大阪市立鶴見橋中学校	2017/7/17 ~ 2017/9/11	大阪府	В
P.7	富士見丘中学高等学校	2017/9/20 ~ 2017/11/10	東京都	D
P.8	鹿児島市立吉田南中学校	2017/10/4 ~ 2017/11/7	鹿児島県	В
P.9	済美平成中等教育学校	2017/10/24 ~ 2017/11/30	愛媛県	С
P.10	横浜市立横浜商業高等学校	2017/10/26 ~ 2017/11/30	神奈川県	А
P.11	佐世保市立江迎中学校	2017/11/14 ~ 2017/12/20	長崎県	В
P.12	大津町立大津北中学校	2017/12/13 ~ 2018/1/25	熊本県	С
P.13	市川市立第八中学校	2018/1/12 ~ 2018/3/9	千葉県	D
P.14	横浜富士見丘学園中等教育学校	2018/1/15 ~ 2018/3/2	神奈川県	D
P.16	京都府立峰山高等学校	2018/2/15 ~ 2018/3/20	京都府	С
P.17	鹿児島市立吉野中学校	2018/10/26 ~ 2018/12/20	鹿児島県	D
P.18	千葉県立松戸六実高等学校	2019/6/5 ~ 2019/7/10	千葉県	С
P.19	佐世保市立相浦中学校	2019/9/27 ~ 2019/11/15	長崎県	В
P.20	北広島市立西の里中学校	2020/1/21 ~ 2020/2/28	北海道	С
P.21	東京都立南多摩中等教育学校	2020/2/17 ~ 2020/3/31	東京都	В

## 〈専門・公共図書館〉

掲載頁	図書館名	開催期間	都道府県	書籍セット
P.22	防災専門図書館	2018/8/3 ~ 2018/9/28	東京都	AC
P.22	気仙沼図書館	2019/3/2 ~ 2019/3/27	宮城県	ABCD

3

## 昭和学院小学校

**所在地**:千葉県市川市東菅野2-17-1

**書籍セット**:Aセット

開催期間:2018/5/10~2018/6/29





### メッセージカード書籍データ

1 書 名:かぜのでんわ

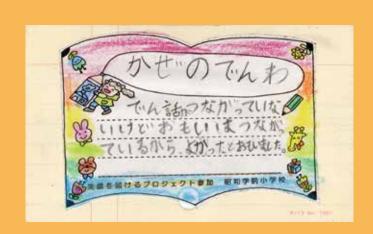
著者:いもとようこ 出版社:金の星社

絵本「かぜのでんわ」の読み聞かせの時間を持ちました。 擬人化した動物たちの切なさを受け止めました。 みんなの思いはきっと空の星が受け止めてくれるよ。 届いているよと本当に思いました。

選者代表 齋藤 紀子







# 鹿児島市立桜峰小学校

所在地:鹿児島県鹿児島市桜島松浦町355

書籍セット: A セット

開催期間:2019/1/17~2019/2/22







### メッセージカード書籍データ

■ 書 名:風の島へようこそ

著者:アラン・ドラモンド 出版社:福音館書店

2 書 名:東北んめえもんのうた

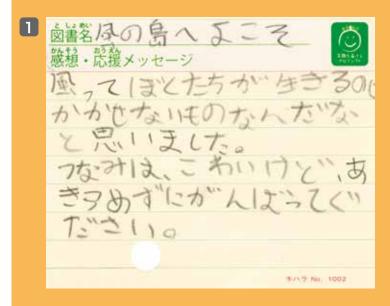
著者:長谷川義史 出版社:佼成出版社

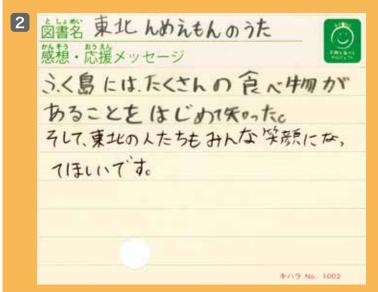
3 書 名:ふくしまからきた子

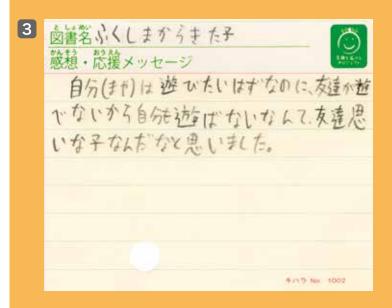
著者:松本猛 出版社:岩崎書店

被災地福島とその人々への思いを避難先での子どもたちの暮らしや食べ物を通して考えました。自分たちと同じ年代の子どもたちのつらい体験を知り、遠くから見守りたいと思っています。

選者代表 齋藤 紀子









# 大阪市立鶴見橋中学校

所在地:大阪府大阪市西成区長橋3-9-23

**書籍セット**:Bセット

開催期間:2017/7/17~2017/9/11





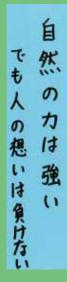
こちらの学校ではメッセージカードに加え、生徒の皆さんが防災や震災について考え、短冊を作ってくださいました。他の開催校でも短冊を使ってくださいとのお言葉を頂き、書籍と一緒に貸し出しをさせて頂きました。ありがとうございます。

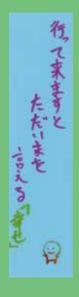
選者代表 齋藤 紀子













## ▋富士見丘中学高等学校

所在地:東京都渋谷区笹塚3-19-9

書籍セット: Dセット

開催期間:2017/9/20~2017/11/10







### メッセージカード書籍データ

■ 書 名:南三陸日記

著者:三浦英之 出版社:朝日新聞出版

2 書 名: PRAY FOR JAPAN

出版社:講談社

3 書 名:大震災でわかった学校の大問題

著者:大森直樹 出版社:小学館

あの時被災者を思いやったのは日本人だけでは無かった。世界中から温かい支援が届いていたことを知り、改めて自分は何をすべきかを考える機会を得ました。

選者代表 齋藤 紀子

1 図書名

懲想・影蟄メッセージ

图書名:南三陸日記

感想:記者の方の"実際に被災地を
訪れて被災者の方々に、インタピュー
をしている本でした。とても生々しく、
テレビでけではあることのできない
現状をこの本を通して学る!!ことの!"

1115ました。

中ハラ No. 1002

2 <u>図書名 PRAY FOR JAPAN</u> 厳積・影接メッセージ



日本の人々たけでなく、世界中の人のが確災したっちに向けてたくさんの温かいメルセージを送っていたことにとても感動した。SNSなどで重して、日本が世界の人々とつなが、たことで、被災地の人はたくさんの希望をもらえたことがわかった。

#435 No. 1002



地震、津波といった自然現象と
それを受け止めてきた社会と人間
の問題を見つめることが大切である。
それは震災後の学校において、自然と人間についての認識を深め
ていく上で避けることのできない課題では
ないだろうか。

#715 No. 100

## $\bigcirc$

# ■鹿児島市立吉田南中学校

所在地:鹿児島県鹿児島市本名町565

**書籍セット**: Bセット

開催期間:2017/10/4~2017/11/7









### メッセージカード書籍データ

書 名:もし東京湾に津波がきたら

著者:佐野隆 出版社:講談社

2 書 名:福島原発事故はなぜ起きたのか

著者: 井野博満 出版社: 藤原書店

**3** 書 名:海と、がれきと、ボールと絆。

著 者:スタンダード編集部 出版社:講談社

自分は地震がおきたらきっと冷静には動けないだろう。でもあの日自分で行動し周りの人々まで動かしていた人々がいました。このことに心を動かされ、これからは避難訓練もまじめに行動し、いざというときにきちんと動けるようになりたいと思います。

選者代表 齋藤 紀子

1 図書名 もし東京:赤に津波がきたら、 放射・応援メッセージ



大都市の東京に、大きなけせ震と大きな津海かっきたい。

書いてあって、想像しやすかった。

東京には、干地がかって、人のかのと迷け"3 場所が心かないをもでも、この本には自分でもでける ることが書いてあってす="くためになった。

4717 No. 1002

2 図書名 福島原発事跡はたせ、紅き下のか 筬積・影雑メッセージ



福島の原発で何か起こ。たのか、放射能汚染ら放射能はどのくらい危険なのかということなどが 分かりました。原発は、もともと危険などいろこと は知っていたのですが、この本を読んで、よりくわしい ことが分かりました。

\$715 No. 1002

図書名海とかまきとかールと科



しかくたったら、地震が落またら、冷静に動けなく て、周りにつけてけくことしかできむける思います。 ですか、この本にでてくる人のほとんでかい自分から行動し、周りの人を動かしてけます。

おかで、まず自分かできるなな人訓練などからまじまにしていきたいです。

#/19 No 1002

## ▋済美平成中等教育学校

所在地:愛媛県松山市空港通5-6-3

書籍セット:Cセット

開催期間:2017/10/24~2017/11/30





### メッセージカード書籍データ

■ 書名:被災ママに学ぶちいさな防災のアイディア40

著者:アベナオミ 出版社:学研プラス

2 書 名:だけど、くじけない

著者:長倉洋海と東北のこどもたち 出版社:NHK出版

**3 書 名:FUKUSHIMA×フクシマ×福島** 

著者:郡山総一郎 出版社:新日本出版社

「南海トラフ巨大地震」がいつ発生するか分からないわが身を置いている地理的状況を通して震災を自分なりに理解し何ができるかこれから考えたいと切実に思います。

選者代表 齋藤 紀子



東日本大震災を実際に経験した人の感じたくとをマンがにまとめていてとても分りやすい本でした。私の住んでいる愛媛県も南海トラフ巨大地震がいつ起こるかからないのでこのような本を読んでもっと対策したいです。被災地のみなけん、頑張って下さい!応援しています! キハラ NO. 1002



私はこの本で、子でもですの今の姿をみることかできました。 震災から何年も経ちましたが、復興はまでまだです。ければ、子でもたちは、自分の将来の夢を捨てたりせず頑張っていました。 私はこれからも、と震災について知、て、自分にできることを見っけたいです。 そして、子いもですがもとの 生治に戻れるように 頑張りたいです。



東日本大震災が起こったとき、私は小学3年生で、またどどりいり状況でのか当時は ちゃんとわかっていてまかっていけれど、私い同じとしの3 も大変なり目にあっているんだと悲しく感じないました これををみて、完全に復興ないにはおけたくなんの時間が かかると感じました。でから少してきかければきにらいれていると 思いすした。

キハラ No. 100

## (i)

# 横浜市立横浜商業高等学校

所在地:神奈川県横浜市南区南太田2-30-1

**書籍セット**:Aセット

開催期間:2017/10/26~2017/11/30



### メッセージカード書籍データ

■ 書 名:まさき君のピアノ

著者:橋本安代 出版社:ブックマン社

2 書 名:私とあなたここに生まれて

著者:和合亮一 出版社:明石書店

3 書 名:かぜのでんわ

著者:いもとようこ 出版社:金の星社

自然の脅威に改めて思いを致し、過酷な状況の中で も交わされた人と人との交流、温かい思いやりを忘 れない風景に感動しました。

選者代表 齋藤 紀子

1 図書名 まさきあっピッアノ 競技・応援メッセージ



この本は、当時の被災地の実状と知る機会、そして
素気をくれました。偏見の中、お母されの苦しみ、葛剛に
心を重かかされました。ピアノに巡り会えたこと、
たくさんの人々に生きる希望をもたらせたこと、
たくさんの小さな奇跡。それによって成長してゆく
まさきさん。「応機したい」という想いが、読み進めるごとに
どんじん形らんでゆました。

47/17 No. 1002

図書名 私とめなた ここに生まれて 窓想・応接メッセージ



自然、時間、そして思いの震えが、 繊細に込められた話でした。

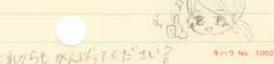
"きみはある時に追い起したんたかな 石夏秋冬のふとした一瞬に" ていう答が、とても印象に列かりました。

\$115 No. 1002

図書名 かぜのでんり 一 放射・監接メッセージ



ラ外る絵本だなと思いまして。 どんな思いで山を登って電話を がけたりか、絵本だからこそ伝わって くるような気がいました。



## ■佐世保市立江迎中学校

所在地:長崎県佐世保市江迎町乱橋584

**書籍セット**: Bセット

開催期間:2017/11/14~2017/12/20



### メッセージカード書籍データ

■ 書 名:鎮魂3·11平成三陸大津波

出版社:東海新報社

2 書 名:明日へ

著者:日本放送協会 出版社:NHK出版

3 書 名: てんつく怒髪

著者:落合恵子 出版社:岩波書店

被災地、被災者の遇酷さは想像以上であったことを 展示作品を通じてその一端を知ることができました。自分たちの無力さを感じます。でもだからこそ「あ なたは一人じゃない」と呼び掛けたいと思います。

選者代表 齋藤 紀子



被災地の方が今、どんな気持ちでどれほど苦しいのか想像もつきません。

行方不明の方、そくな,たちがいら,しゃるのは. とても悲しく 胸が痛みます。

被災地がよりよくなる事を願います。 応援しています。がんばってください!

#/\9 No. 1002

2 卤害名





明日入

被災地のみなさんが1日でも早く
元気で笑顔を取り戻せるように九州から
応援しています。「明日へ」この本を読んで
被災者の方々の大変さが分かりました。
同じ日本にいて見ている空は一緒です。

あなたは、1人じゃない

P/3.5 No. 1002

図書名

燃料・応援メッセージ



ロてんつく問題山

僕はこの本を読んで、被災地にいる人でうの 選略すとそれ以外の見守ることとかできない僕である。 の情けなこが良くかりました。たから僕は、 これからの生活を被災がもの人たろの役に立てる ように頑張ります。

#7/19 No. 1002

# 大津町立大津北中学校

所在地:熊本県菊池郡大津町大津310

書籍セット: Cセット

開催期間:2017/12/13~2018/1/25



### メッセージカード書籍データ

■ 書 名:フクシマの王子さま

著者:椎根和 出版社:芸術新聞社

本を読み今と昔を知ることで災害について学びました。 震災による被害の大きさや二次災害、原子力発電所の爆発は東日本大震災だけの事ではありません。 学び知ることで身につき衝撃を受けました。

選者代表 齋藤 紀子

1 図書名 フクシマの王子さま

窓刻・窓接メッセージ

最初は、津波のこととかけんはての事で難しいと思っていたけどと中に苦話やその時の様子などはさんであった読みやすかったで
ホニュースじゃわからなことで発電所のことが書いてあって少したけだけで知ることが書いてあって少したけだけで知ることができました。原子力事故がまざる確率がちの億一分のしていうことがしょうけきをフけました。

# 市川市立第八中学校

所在地:千葉県市川市大和田4-9-1

**書籍セット**: Dセット

開催期間:2018/1/12~2018/3/9





### メッセージカード書籍データ

■ 書 名:災害ストレスから子どもの心を守る本

**著 者**:内海裕美 **出版社**:河出書房新社

2 書 名:とんがりあたまのごん太

著者:仲本剛 出版社:光文社

3 書 名:巨大地震リアルシミュレーション

著者:久保範明 出版社:永岡書店

さまざまな作品にふれることによって、地震の被害は津波だけではない。火災や建物の崩壊その他色々あることを知りました。ペットとの別れ、小さな子供たちの子等々表には出にくいつらさもあるのだと気付かされました。

選者代表 齋藤 紀子

1 歯害物 災害のストレスや子でもの心を守る本総額・琵髏メッセージ



災害にあってしまった子どもたちは様々なサインを出すていう動での本から分かった。SOSサインなでをさりげなく表現し大人や易族に助けを求めている。僕も小さな女木がいるので、災害があった時だけでなく、日々の生治から色々なかいして注目していきたい。

#117 No. 1002

2 図書名とんかりあたまのごん太 競技・影接メッセージ



今まで通りの日常を送ってたのに大きい地震1つで何もかも変わるんだな思った。

放射能がもれて、ペットと離れるのはお互いに辛いと思う。でもごん太は、亡くなる前に家族と再会できて、とても嬉しいはす。自分もペットを飼っているから、1日1日を大事にして一一緒にみんなですごしたいと思う。



地震の被害は津波だけでなく火災ド建物ほうかいなどもあると分かった。

この本を読んで首都直下型地震は30年以内に80% ぐらいの確率でくるということが分かったから地震がきても相定外ではすまされないと思った。東日本類災のことを売れずに地震の対策をもっとしかりとしたいと思った。

₱ A → No 1002

# ■横浜富士見丘学園 中等教育学校

所在地:神奈川県横浜市旭区中沢1-24-1

**書籍セット**: Dセット

開催期間:2018/1/15~2018/3/2









### メッセージカード書籍データ

■ 書 名:海の見える病院 語れなかった「雄勝」の真実

著者: 辰濃哲郎 出版社: 医薬経済社

2 書 名:連鎖する大地震

著者:遠田晋次 出版社:岩波書店

3 書 名:南三陸から〈vol.2〉2011.9.11 ~ 2012.3.11

著者:佐藤信一 出版社:ADK南三陸町復興支援プロジェクト

テレビや新聞報道のみでは知ることのなかった真実 の数々に衝撃を受け、中でも医療知識のある人々の 地味でも的確な活動を知り、災害時に必要とされる 力は多岐にわたることに思い至りました。

選者代表 齋藤 紀子

# 1 卤氰岩 海の見える海院





年のはまずこの本を読んで、津波を実際に作験し今までにう流されている最中の指写が分かってことに可以驚きましているれば、文章がらよけとれるてごけても想像を絶する方をろしまで、涙ができましているれを乗り起えていと言っているなですが、今も復興にすける見実と聞っている皆さんのことを再り

F/17 No. 100

# 2 図書名 連鎖する大地震





まが、東日本大震災が起こる2週間前に、日本人28分を含む計(8ち人もの命が、ニュージーランドでの地震させくないていた事を初めて失いた。1度地震が発生あると、保護が何度も続き更に被害るが増えてしまいまる。最近ニュースでも話題にないているように、関連地方でも大震災が起ころがもしれないと言いれていましたがないながいます。 あから日愛かい、防災にクいて専門に 考えようとひめて 思う事が出来ました。 サルフトロ

## 図書名 南三陸から2011.9.11~2012.3.11 職績・影機メッセージ



写真的伝わってくる被災地の現状を見て私が思ってたよりも悲惨で深刻な状態であるとを知りこの現状をより多くの人に失いてもらうべきにと思いまけ、この本を読んでいる時年象的で、たのは子供たちの笑顔でした。笑顔が絶えないよう、復興にもっと何であっていた。

#759 No. 1002

## 横浜富士見丘学園中等教育学校 「笑顔プロジェクトin school library」 特別授業



平成30年1月30日横浜市にある私学、横浜富士見丘学園中等教育学校(中高一貫校)にて「笑顔プロジェクト in school library」特別授業が開催されました。1月15日から2月末まで貸し出しを行い、齋藤紀子氏による開催期間中の特別講義です。中学1・2年生50名を対象に90分間、図書室にて開催となりました。

図書館バス・笑顔プロジェクトを中心に、当時の被災地での様子について、読書推進としての読み聞かせ、折り紙体験を行い、参加した生徒さん達は真剣に聞き入りながらも笑い声が出る等、大変盛り上がりました。 学校側からは図書ご担当教諭他、理事長・校長先生、他4名の先生方も見学されました。







# 京都府立峰山高等学校

所在地:京都府京丹後市峰山町古殿1185

書籍セット: Cセット

開催期間:2018/2/15~2018/3/20







### メッセージカード書籍データ

**1 書 名:**FUKUSHIMA×フクシマ×福島

著者:郡山総一郎 出版社:新日本出版社

司書の方からもメッセージをいただきました。子どもたちを守る立場として、震災に関する様々な情報を子どもたちに伝えて欲しいと思います。生徒による地域震災の歴史と教訓を伝える活動は素晴らしいと思いました。

選者代表 齋藤 紀子

## 図書名 FUKUSHIMA×7クシマ×福島 総秘・総接メッセージ



建物の倒壊などを撮影した 写真はほとんどなか、たですが、 一枚一枚から被災地の不安な 様子が伝わってきて、震災の 影響の大きさを改めて感じました。

±11.5 No.: 1002

## 卤書名

繊維・影響メッセージ



本板のある月後地域でも、円知2年(1927) 3月7日に大きな地震があり(水月後大震災) 約3000人の犠牲者が出ました。風流松では、震災の歴史と教訓を伝えることを目的に生態の一部が ろともや 住民の古る 対像に震災にゆかりのある場所をが外引 取組を 昨年度から行っています。等

→東日本大震災 関連の本も、これからの世代に 地震や津波の恐ろしてる 伝える 貴重な 資料です。 キハラ様のこの取組 が今後も全国で 役に立っ こてを願いています。

# ■鹿児島市立吉野中学校

所在地:鹿児島県鹿児島市吉野町3074

**書籍セット**: Dセット

開催期間:2018/10/26~2018/12/20





### メッセージカード書籍データ

**1** 書 名:南三陸から⟨vol.2⟩ 2011.9.11 ~ 2012.3.11

著 者: 佐藤信一 出版社: ADK 南三陸町復興支援プロジェクト

2 書 名:震災が教えてくれたこと

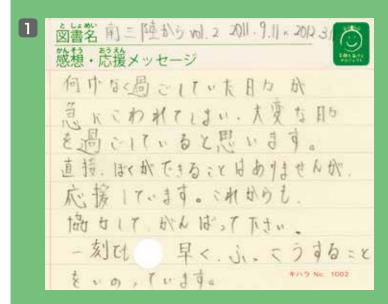
著者: 今野公美子 出版社: 朝日学生新聞社

3 書 名:災害ストレスから子どもの心を守る本

著者:內海裕美 出版社:河出書房新社

何げない日々の大切さに気付き、災害の恐ろしさを 学びました。災害による大切な人との別れ、復興に かかる長い時間、避難所や仮設住宅での生活は子 どもたちにも大変なストレスがある事を知りました。

選者代表 齋藤 紀子



3 <u>歯害名 災害からそどものべを守る本</u> 総額・配養メッセージ



本を読み、子どもは思っている以上に入れる受けていて、苦い思いをしていることをあらためて実感しました。災害から何年経っていても、大七刀な人が、帰ってこなかったり、しまた。たい人も沢山いると思います。なので和の応援メッセージで少しでも多くの人の八、の傷をカバーできたら良いです。

# ■千葉県立松戸六実高等学校

所在地: 千葉県松戸市六高台5-150-1

書籍セット: Cセット

開催期間:2019/6/5~2019/7/10







### メッセージカード書籍データ

書 名:希望の木

著者:新井満 出版社:大和出版

2 書 名:復活への記憶 東北ふるさとのアルバム著 者:マガジンハウス 出版社:マガジンハウス

3 書 名:ドキュメント震災三十一文字

著者:日本放送協会 出版社:NHK出版

初めて経験した大きな揺れに恐怖を覚えたあの日を 思い出したこと、翌年現地に足を運んだ時、「この 震災を忘れてはいけない」と強く思った気持ちを持 ち続けたい。

選者代表 齋藤 紀子

# 1 図書名 希望の木 職績・膨緩メッセージ



実習生として久しぶりに母校に帰ってきましたか、今に夕書館でいういた力がりた行っているのだが、するで素敵だがと思いました。本を読み、当時中学/年生で関東でもものない、揺れかしためい、本を思いめしました。被災地のみななんがはなる生活に戻れる日を他から祈っています。

\$71.75 No. 1002

## 2 図書名復活への記憶 東北みるさとのアルバム 競技・応援メッセージ



2011年からもう8年が経っなれて、月日がとても早く感じる。方だに、復興ではていない土地域もあると聞いてビックリレた。震災が起こった理年、父が単身赴任で松島に一行っていて、私も母と松島に一行ってことがある。テレビで見た。写真や映像が実際に起こってい下のだとの時実際したら、めの災害はだってはいけない啊だい、受け継がいていくべき啊であると私に思る

# 3 図書名 電火三十一文字 設箱・影雑メッセージ



本の中にしたためられた多くの歌に歌を創ったちの数えきれない程の想にを感い、自分とは違う、離れたところにいる人なが悪災当時の気持ちされるとせられました。

キハラ No. 1002

## ▋佐世保市立相浦中学校

所在地:長崎県佐世保市川下町277

**書籍セット**: Bセット

開催期間:2019/9/27~2019/11/15



### メッセージカード書籍データ

書 名:写真集ツナミの涙―これからの僕たちへ―著 者:上田聡 出版社:第三書館

書 名:東日本大震災2011.3.11 1ヶ月の全記録

出版社:京都新聞出版センター

3 書 名:海をうらまない

著者: 佐野啓子 出版社: 合同出版

「島に住んでいる私」は津波の恐ろしさは知識として持っているが、この震災で19,000人もの命が失われた現実を知り、これからの自分の暮らしを考えたい。

選者代表 齋藤 紀子

図書名 ツナミの i戻ーこれがの像たちゃ 総額・認義メッセージ



私はこの本を読んでとても悲くなりました。 死者や行方不明者が約1万9千人と書いてあるのを 見て私はまだみつかってない人たちがみつか。たら いいなと思いました。最後に私は島に在人でいる のでつなみがきたらあずないと知っているので 気をつけます。私はみかさ人の幸せをいる。こ

キハラ No. 1002



朝本大震災の寝集を読したい時にたけれの人か家族ととっせいんはなれて震災にあってかかいそうたいと思いました。東日本の時みたいな悪災かなくなってなしいと思いました。地電などいは自然災害みたいないないのは二度とおきです。

P /5 9 No. 1002

3 数書名





で海をうらまない。 佐藤 啓子ががっらいじょうきょうでそれのから4をかいていて、東日本大震災のおそるはないかよがかました。これからそ旧でも早い復興をいから原真でいす。

P/19 No. 1002

# 北広島市立西の里中学校

所在地:北海道北広島市西の里790-1

書籍セット: Cセット

開催期間:2020/1/21~2020/2/28





### メッセージカード書籍データ

■ 書 名:3.11を心に刻んで

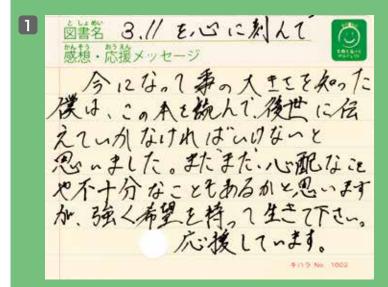
出版社:岩波書店

2 書 名:原発・放射能図解データ

著者:野口邦和 出版社:大月書店

本を読むことでこの震災の重大さを改めて知りました。後世に伝えることが大切と痛感しました。原発問題に関してもこれからもっともっと勉強しなければなりません。そして記録を残すことの重要さも強く感じています。

選者代表 齋藤 紀子



2 歯蓋 原発・放射能 四解データ 簡短・影接メッセージ



原子力発電について管面の人よりも詳レいと思っていましたが、この本を最んで、新たに知ることが多して、も、と震災について知る必要があると思うき、かけにはりました。供は、原教について質成派の考えだ、たのですが、もう受験がことを無く調べてかよう

## (O)

# 東京都立南多摩中等教育学校

所在地:東京都八王子市明神町 4-20-1

**書籍セット**: Bセット

開催期間:2020/2/17~2020/3/31







### メッセージカード書籍データ

■ 書 名:「つなみ」の子どもたち

著 者:森健 出版社:文藝春秋

2 書 名:なぜ院長は「逃亡犯」にされたのか著 者:森功 出版社:講談社

3 書 名:野﨑洋光のおいしい節電レシピ

著者:野﨑洋光 出版社:東洋経済新報社

大変な体験をしながらもけなげに心強く立ち上がる 子どもたちの姿が衝撃的でした。また混乱する中で 流される報道が正確かどうか、一歩立ち止まって考 える姿勢が大切ということも学びました。

選者代表 齋藤 紀子

### 1 図書名 「つなみ」の 3 ともたち 競技・影場メッセージ



津波も、誰かの死も候職したことのない私にとってしたりませるともたちが、東北がこれはと強いのか、疑問に思われる衝撃的か内容でした。自分が生まれた場所への特別な思いが、津波にあそかれても消えていないことに特に為さました。今の日本をつくいている、そういいに人の表表し、深く受謝をしたい気持ちにかりました。私しは契野を終う気持ちがあまりないようたけれと、大切な人が、いろことはつなか」のることをしているものがあるのにこ思います。これにいるものがあるのにこ思います。これにいるものがあるのにこ思います。これにいるものがあるのにこ思います。これにいるものがあるのにこ思います。これにいる

## 2 図書名 たが成れ、逃せれ」にせれたのかり 競類・影響メッセージ



私口この本を読んで、新用できなの報道をうのかにしていていてかいというにいいかをしていまった。 メポイトがずしも 正しいという限らないと愛えて生産しています。この本に出ている双葉病院のスタッフの市のであかかいとをかめれ、漢く来いたいもしにと思うといいが、痛い、おい原発のからかいされている自然就して、我果、私たちが、日本をリードしていく中でこの何題は避けて、い種ろことの出来ない何題に、と思う。原発のおはみしまかとこれがなられるとれるないのか、 けんげでからかい。 また、読 観といりものがいからからしいのが、ということもあることができた。 \*\*13 No. 1003

# 3 図書名野崎洋光のおいにいたでしるとの



感想・応援メッセージ

被災時には、手に入る食材の量。種類・質は限られているので、実際に調理を持てきには、レシピ。本通りの材料は中でそろえ、 ドネないかもしれません。しかし、この本を参考に多くの味を覚えたいと思いました。

±11.5 No: 1002



笑顔を届けるプロジェクトin school libraryを2つの図書館で特別開催をしました。

# ▮防災専門図書館

所在地:東京都千代田区平河町2-4-1 (日本都市センター会館8階)

開催期間:2018/8/3~2018/9/28







# ■気仙沼図書館

所在地:宮城県気仙沼市笹が陣3-30 開催期間:2019/3/2~2019/3/27 (メッセージカードの展示も行いました。)











### 笑顔を届けるプロジェクト in school library

# 本を通じて東北とつながりませんか?

参加していただける学校図書館を募集しています。

東日本大震災以降、地震、噴火などの自然災害が後を絶ちません。学校では防災や自然災害に関する 授業などが盛んに行われていますが、図書室には関連する資料がほとんどないのが現状です。今回、そうした 状況の学校図書館において、未来を担う子どもたちに東日本大震災でなにがあったのかを広く伝えていくことは 大切な使命であると捉え「笑顔を届けるプロジェクト in school library」をキハラ被災地支援活動として 企画いたしました。この活動によって、遠く離れた地域に住む同世代の友達から応援メッセージを受け取った 被災地の子供たちが、勇気づけられ笑顔を取り戻すことを願っています。

学校図書館を対象に、選書した東日本大震災関連の本150冊とブックトラック2台を貸し出します。 閲覧はもちろんテーマ学習、調べ学習などの授業と連携して活用していただけます。その際、本に装備されている読書応援カードに、本を読んだ子どもたちに応援メッセージを記入してもらいます。読書 応援カードは次の開催校へとつながれて、最終的に東北の子どもたちへ届けられます。

### 笑顔ブックトラック <u>セット一式</u>



## 東北の図書館 子どもたち

- 東北との交流・つながる読書応援カード
- ・読書による他県の学校との交流
- ・子ども<mark>たちのきずな</mark>



### 学校授業に活かす

- 東日本大震災本の特別閲覧
- ・テーマ学習、調べ学習などの授業利用
- ・ブックトークなどのイベント利用

学校 図書館



## 子どもたち



### 東北を応援!

- ・授業や読書を通して、震災について学習
- 読書応援カードによる東北へのメッセージ
- 東日本大震災の再認識



貸出品 ブックトラック 2 台・サイン 1 式・本 150 冊(リスト付属) ※資料内容は小学校用、中学校・高等学校用がございます。

貸出期間 1ヵ月程度を予定しています。(※期間・開始日についてはキハラ担当とご相談ください。)

開催中の運用・・運用方法は各校にお任せします。館内閲覧のほか、調べ学習、テーマ学習、休み中の課題・宿題などにご活用いただけます。

・本の見返し部分の読書応援カードに氏名・応援メッセージを書いてもらいます。

貸出品の設営・撤収 ・各地域の営業担当が車で持参して、設営及び撤収を行います。…ブックトラック、本・サインの設置など。

防災教育に ご活用ください

### お申し込み・問い合わせ先

キハラホームページにてお申し込みいただけます。

フォームに必要内容をご記入ください。

後日、キハラのプロジェクト担当よりご連絡させていただきます。

※応募多数の場合、ご希望にそえないこともございます。ご了承ください。

http://www.kihara-lib.co.jp





## 東日本大震災復興支援活動 笑顔を届けるプロジェクト in school library 笑顔文庫図書と書架の寄贈並びに感謝状贈呈式

開催日:2021年3月18日

場 所: 気仙沼図書館

参加者:気仙沼市/小山教育長、池田教育部長、三浦参事兼生涯学習課長

吉田館長、吉田副館長(司会)

新宿ロータリークラブ/山内会長、長尾幹事長、大谷委員(補助金担当)

岡田新一設計事務所/柳瀬代表取締役社長

齋藤紀子 (笑顔を届けるプロジェクトアドバイザー)

キハラ株式会社/木原、工藤、川上、高田



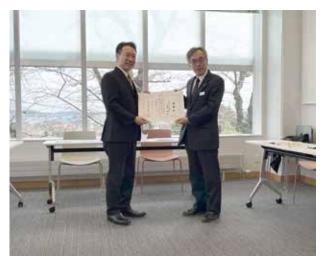
笑顔文庫、メッセージカードアルバム前 記念写真 (左より)新宿ロータリークラブ 大谷委員、長尾幹事長、木原、小山教育長、吉田館長、 新宿ロータリークラブ 山内会長、岡田新一設計事務所 柳瀬代表取締役社長



笑顔を届けるプロジェクト in school library メッセージ カードをご覧になる小山教育長(中央)



笑顔文庫、メッセージカードアルバム



木原 小山教育長 感謝状贈呈



山内会長 小山教育長 感謝状贈呈

東日本大震災発生から10年を節目として、笑顔を届けるプロジェクト「本の力」巡回展、笑顔を届けるプロジェクト in school library にて使用した書籍1426冊、メッセージカード1634枚を配架した特製の書架と共に、宮城県気仙沼図書館様に寄贈を行いました。

また、キハラより新宿ロータリークラブ様へ依頼し、約50万円分の新規書籍購入費の補助をいただきました。 気仙沼図書館様では「笑顔文庫」と命名され、図書館を訪れる方に自由に見ていただけるよう設置されました。



朝日新聞宮城版(2021年3月31日掲載)

当日は朝日新聞気仙沼支局、三陸新報の記者に取材していただきました。

また、国立国会図書館カレントアウェアネス・ポータル にも掲載されています。

国立国会図書館カレントアウェアネス・ポータル https://current.ndl.go.jp/node/43625



三陸新報(2021年3月21日掲載)

## 書籍セット一覧

### Aセット

No	タイトル (巻次/版)	著 者	出版者
1	いきているひかり	Bang Molly	評論社
2	ハナミズキのみち		金の星社
3	松の子ピノ	北門笙	小学館
4	かあさんのこもりうた	こんのひとみ	金の星社
5	みえないばくだん	たかはしよしこ	小学館
6	True Feelings	初沢亜利	三栄書房
7	奇跡の一本松	なかだえり	汐文社
8	東北んめえもんのうた	長谷川義史	佼成出版社
9	あのひのこと = Remember March 11, 2011	葉祥明	佼成出版社
0	風の島へようこそ	Drummond Allan	福音館書店
1	つなみ	田畑ヨシ	産経新聞出版
2	72 時間生きぬくための 101 の方法	なつみどり	童心社
3	知ろう! 防ごう! 自然災害/ 1 (地震・津波・火山噴火)/増補改訂版	佐藤隆雄	岩崎書店
4	災害・防災図鑑	環境防災総合政策研究機構	文溪堂
5	はしれ、上へ!	指田和子	ポプラ社
6	東日本大震災伝えなければならない100の物語/第1巻(その日)		学研教育出版
7	東日本大震災伝えなければならない100の物語/第2巻(明けない夜はない)		学研教育出版
8	東日本大震災伝えなければならない100の物語/第3巻(生きることを、生きるために)		学研教育出版
9	東日本大震災伝えなければならない100の物語/第4巻(助け合うこと)		学研教育出版
0	東日本大震災伝えなければならない100の物語/第5巻(放射能との格闘)		学研教育出版
1	東日本大震災伝えなければならない100の物語/第6巻(絆)		学研教育出版
2	東日本大震災伝えなければならない100の物語/第7巻(希望をつむぐ)		学研教育出版
3	東日本大震災伝えなければならない100の物語/第8巻(広がりゆく支援の輪)		学研教育出版
4	東日本大震災伝えなければならない100の物語/第9巻(再生と復興に向かって)		学研教育出版
5	東日本大震災伝えなければならない100の物語/第10巻(未来へ)		学研教育出版
6	語りつぎお話絵本3月11日/8(ふるさとをとりもどす!)	WILL	学研教育出版
7	語りつぎお話絵本3月11日/7(広がる支援の輪)	WILL	学研教育出版
8	語りつぎお話絵本3月11日/6(助け合う人たち)	WILL	学研教育出版
9	語りつぎお話絵本3月11日/5(子どもたちの「ちから」)	WILL	学研教育出版
0	語りつぎお話絵本3月11日/4(支え合ったひなん所)	WILL	学研教育出版
1	語りつぎお話絵本3月11日/3(家族と会えた)	WILL	学研教育出版
2	語りつぎお話絵本3月11日/2(にげる! 津波だ!)	WILL	学研教育出版
3	語りつぎお話絵本3月11日/1(午後2時46分)	WILL	学研教育出版
4	ボランティア奮闘記	日本財団	木楽舎
5	3・11 あの日のこと、あの日からのこと	鎌田雅子	かもがわ出版
6	尾木ママと考える大震災後を生きる希望のヒント	尾木直樹	金曜日
7	ヒーローズ・カムバック	細野不二彦	小学館
8	3・11 生みの苦しみによりそって	高垣忠一郎	かもがわ出版
9	特別授業3.11 君たちはどう生きるか	あさのあつこ	河出書房新社
0	こうすればじょうずに節電できる	池上彰	小学館クリエイティブ
.1	命を守る防災サバイバルBOOK	小学館	小学館
2	いつか帰りたいぼくのふるさと = Kitty's Journey from Fukushima	大塚敦子	小学館
3	フクシマ2011、沈黙の春	八木澤高明	新日本出版社
4	おもかげ復元師の震災絵日記	笹原留似子	ポプラ社
5	希望のキャンプ	田口ランディ	汐文社
6	親子のための地震イツモノート	寄藤文平	ポプラ社
7	放射線になんか、まけないぞ!	坂内智之	太郎次郎社エディタス
-8	教室で教えたい放射能と原発	江川多喜雄	いかだ社
.9	どうする? どうする? ほうしゃせん	山田ふしぎ	大月書店
50	立入禁止区域双葉		汐文社

### A セット

No	タイトル (巻次/版)	著者	出版者
51	ふくしまからきた子	松本猛	岩崎書店
52	どうする? どうする? ほうしゃせん/図書館版	山田ふしぎ	大月書店
53	ラース	ブラザートム	SDP
54	タンポポあの日をわすれないで	光丘真理	文研出版
55	イラクから日本のおともだちへ	佐藤真紀	子どもの未来社
56	ウリンボー	荒井良二	芸術新聞社
57	はしるってなに	和合亮一	芸術新聞社
58	ふるさとはフクシマ子どもたちの3.11	元気になろう福島	文研出版
59	フクシマから学ぶ原発・放射能	安斎育郎 監修	かもがわ出版
60	原子力がわかる事典	原子力教育を考える会	PHP研究所
61	放射線の大研究	原子力教育を考える会	PHP研究所
62	よくわかる放射線・放射能の問題	矢沢事務所	学研教育出版
63	「あの日」、そしてこれから	高橋邦典	ポプラ社
64	のこされた動物たち	太田康介	飛鳥新社
65	福島原発事故と女たち	近藤和子	梨の木舎
66	大震災サバイバルBOOK	テレンス・リー	主婦の友社
67	命を守る教育	片田敏孝	PHP研究所
68	まさき君のピアノ	橋本安代	ブックマン社
69	捨て犬・未来命のメッセージ	今西乃子	岩崎書店
70	<i>さ</i> <6	馬場国敏	金の星社
71	2年目の3・11	加藤秀視 監修	
72	ひとりじゃない	日本放送協会	NHK出版
73	21人の輪	杉浦大悟	NHK出版
74	死なない! 死なせない! 大震災から家族を守る!	三井康壽	世界文化社
75	白いガーベラ	内田麟太郎	今人舎
76	上を向いて歩こう!	のぶみ	講談社
77	命を預かる保育者の子どもを守る防災 BOOK	猪熊弘子	学研教育出版
78	重症児者の防災ハンドブック	田中総一郎	クリエイツかもがわ
79	池上彰の学べるニュース/5(臨時特別号)	池上彰	海竜社
80		李承信	飛鳥新社
81	私とあなたここに生まれて	和合亮一	明石書店
82	「核の今」がわかる本	太田昌克	講談社
83	玉川徹のそもそも総研/原発・電力編	玉川徹	講談社
84	「被災者目線」の復興論	日野秀逸	新日本出版社
85 86	3.11 を生きのびる	江川紹子 広井自曲	かもがわ出版
86 87	若者たちの震災復興         3.11 / After	広井良典 四冊五	EIXIL出版
87 88	3.11 / Alter 復興の書店		小学館
89		渡辺尚志	農山漁村文化協会
	日本人は災害からどう復興したか		
90	東日本大震災復興への道	田結庄良昭	クリエイツかもがわ 技術評論社
91	耐震・制震・免震が一番わかる 日本復興(ジャパン・ルネッサンス)の錬帯は良力	高山峯夫	
92	日本復興 (ジャパン・ルネッサンス) の鍵受け身力 電産 7 から 家族 を守る 家	具善花 国	海电社
93	震度7から家族を守る家 信事・悪災に借えるDC 管理体	国崎信江	潮出版社
94	停電・震災に備えるPC管理術	橋本和則	技術評論社
95	東日本大震災からの復興まちづくり	佐藤滋	大月書店
96	地震わが家のお助けノート	玉木貴	青春出版社
97	3・11 (さんてんいちいち) と憲法	森英樹	日本評論社
98	カラー図解ストップ原発/1	新美景子	大月書店
99	今こそ考えよう!エネルギーの危機/第1巻	小椋正己	文溪堂
00	見学! 自然エネルギー大図鑑/3(バイオマス・温度差発電ほか)	飯田哲也	偕成社



### A セット

No	タイトル (巻次/版)	著者	出版者
101	カリーナのりんご	今関あきよし	子どもの未来社
102	甦れ! 気仙沼港	吉川順一	アートダイジェスト
103	東日本大震災2011・3・11「あの日」のこと	高橋邦典	ポプラ社
104	THE DAYS AFTER	石川梵	飛鳥新社
105	ほんとのおおきさ特別編元気です! 東北の動物たち	尾崎たまき	学研教育出版
106	安斎育郎先生の原発・放射能教室/第2巻(なぜ、なに?原発事故の危険)	安斎育郎	新日本出版社
107	3.11 が教えてくれた防災の本/4(避難生活)	片田敏孝	かもがわ出版
108	3.11 が教えてくれた防災の本/3(二次災害)	片田敏孝	かもがわ出版
109	3.11 が教えてくれた防災の本/2(津波)	片田敏孝	かもがわ出版
110	3.11 が教えてくれた防災の本/1(地震)	片田敏孝	かもがわ出版
111	よくわかる原子力とエネルギー/1	野口邦和	ポプラ社
112	よくわかる原子力とエネルギー/2		ポプラ社
113	よくわかる原子力とエネルギー/3		ポプラ社
114	カラー図解ストップ原発/4		大月書店
115	カラー図解ストップ原発/3		大月書店
116	カラー図解ストップ原発/2	新美景子	大月書店
117	まるこをすくった命のリレー	杏有記	文溪堂
118	生きている生きてゆく		
119	宮城県気仙沼発!ファイト新聞	ファイト新聞社	河出書房新社
120	ふくしまの子どもたちが描くあのとき、きょう、みらい。	蟹江杏	徳間書店
121	12 子ども白書	日本子どもを守る会	草土文化
122	つなみ	森健	文藝春秋
123	福島の子どもたちからの手紙	KIDS VOICE	朝日新聞出版
124			
	暮らしは私たちが守る	田口香世	商業界 NULLUME
125	みんなを守るいのちの授業	片田敏孝	NHK出版
126	地震のはなしを聞きに行く	須藤文音	<b>偕成社</b>
127	地震のひみつ	翠川三郎	学研教育出版
128	ドラえもんの地震はなぜ起こるどう身を守る	藤子・F・不二雄	小学館
129	津波をこえたひまわりさん	今関信子	校成出版社
130	ふたたびの春に	和合亮一	祥伝社
131	災害救助犬レイラ	井上こみち	講談社
132	フラガールと犬のチョコ = Hula girl and Choco	祓川学	ハート出版
133	はやく、家にかえりたい。	鎌田実	合同出版
134	世界の言葉で「ありがとう」ってどう言うの?	池上彰	今人舎
135	井戸水とお父さん	千葉直美	創風社
136	ガレキの中にできたカフェ	西山むん	明石書店
137	子どもを放射能汚染から守りぬく方法	武田邦彦	主婦と生活社
138	子どもたちの未来のために	斉藤武一	寿郎社
139	光になった馬。	EPO	主婦の友社
140	津波から生きのびた馬	白木恵委子	遊行社
141	4コマですぐわかるみんなの防災ハンドブック	草野かおる	ディスカヴァー・トゥエンティワン
142	放射能と子ども達	碓井静照	ガリバープロダクツ
143	原発事故と子どもたち	黒部信一	三一書房
144	震災と心のケア	片山和子	日東書院本社
145	14歳からの原発問題	雨宮処凛	河出書房新社
146	さようなら原発の決意	鎌田慧	創森社
147	日本人は「脱原発」ができるのか	川本兼	明石書店
148	大震災の記録と文学	須知徳平	勉誠出版
149	大悲	大雨雄峰	文芸社
-	田坂教授、教えてください。これから原発は、どうなるのですか?	田坂広志	東洋経済新報社

### Bセット

No	タイトル (巻次/版)	著者	出版者
1	東日本大震災に学ぶ日本の防災	地震予知総合研究振興会	学研教育出版
2	三連動地震迫る	木股文昭	中日新聞社
3	地球の声に耳をすませて	大木聖子	くもん出版
4	写真集 ツナミの涙 一これからの僕たちへー	上田聡 写真	第三書館
5	いちばんよくわかる防災・防火・セキュリティ設備	タック	TAC出版事業部
6	災害について学ぶ		上毛新聞社
7	東日本大震災	朝日新聞社	朝日新聞出版
8	日本人の底力	産業経済新聞社	産経新聞出版
9	日本の自然災害		昭文社
10	3.11の衝撃震災・原発特報部は伝えた	東京新聞	中日新聞社
11	3.11 大震災・原発災害の記録	橋本紘二	農山漁村文化協会
12	チェルノブイリ春	中筋純	二見書房
13	東日本大震災全記録	1 1351 0	河北新報社
14	東日本大震災		神戸新聞社
15	自衛隊員が撮った東日本大震災	マガジンハウス	マガジンハウス
16	日用が見が取りた末日平八辰火間の日本	産業経済新聞社	産経新聞出版
17	津波被災前・後の記録	東北建設協会	河北新報出版センター
18	巨大津波が襲った3・11大震災	米北建設伽云	河北新報社
19			
	平成の三陸大津波		岩手日報社
20	鎮魂3.11 平成三陸大津波	D 62111ME +1	東海新報社
21	ふるさと東北	日貿出版社	日貿出版社
22	インフォグラフィクス原発	Gonstalla Esther	岩波書店
23	東日本大震災の記録	陽捷行	養賢堂
24	もし東京湾に津波がきたら	佐野隆	講談社
25	子どもの命は守られたのか	数見隆生	かもがわ出版
26	大震災自閉っこ家族のサバイバル	高橋みかわ	ぶどう社
27	海に沈んだ故郷(ふるさと)	堀込光子	連合出版
28	がれきの中の天使たち		集英社
29	いのちを守る都市づくり/課題編(東日本大震災から見えてきたもの)	大阪市立大学	大阪公立大学共同出版会
30	大災害と子どものストレス	藤森和美	誠信書房
31	地震に克つニッポン	東京大学海洋アライアンス	小学館
32	津波と原発	佐野真一	講談社
33	新たな防災政策への転換	中村八郎	新日本出版社
34	首都直下地震にいますぐ備える本	阿部慶一	河出書房新社
35	首都圏大震災その予測と減災	角田史雄	講談社
36	すぐできる! 「地震に強い家」にする80の方法	高森洋	講談社
37	福島からあなたへ	武藤類子	大月書店
38	南相馬10日間の救命医療	太田圭祐	時事通信出版局
39	「あの日」に生まれてきた命	鮫島浩二	アスペクト
40	なぜ院長は「逃亡犯」にされたのか	森功	講談社
41	医師たちの証言	谷川攻一	へるす出版
42	帰宅難民なう。	難民A	北辰堂出版
43	SOS! 500人を救え!	森安章人	三一書房
44	ドキュメント東日本大震災救助の最前線で	イカロス出版株式会社	イカロス出版
45	シンプルに生きる。	柳田邦男	清流出版
46	大震災日本列島が揺れた	まどみちお	小峰書店
47	きちんと逃げる。	広瀬弘忠	アスペクト
48	東日本大震災津波	越野修三	ぎょうせい
49	長野県の地震入門	塚原弘昭	しなのき書房
50	東日本大震災・ダイジェスト	15 111	近代消防社



### Bセット

No	タイトル (巻次/版)	著者	出版者
51	2011年東日本大震災で発生した千葉県北東部の津波	加瀬靖之	文芸社
52	津波と海岸林 = Coastal forest for tsunami	佐々木寧	共立出版
53	小さな町を呑みこんだ巨大津波	やまもと民話の会	小学館
54	震災と語り	小泉武栄	三弥井書店
55	私が見た大津波	河北新報社	岩波書店
56	松林が命を守る	遠山益	第三文明社
57	それでもいまは、真っ白な帆を上げよう	旺文社	旺文社
58	海をうらまない	佐藤啓子	合同出版
59	3・11 メルトダウン	日本ビジュアルジャーナリスト協会	凱風社
60	春を待つ里山	山口明夏	ポプラ社
61	南三陸町からの手紙	野寺治孝	
62	これからだ	林家木久扇	今人舎
63	みんな生きていたい	今井幸彦	萌文社
64	3.11 あの日を忘れない/1	石塚夢見	秋田書店
65	3.11 あの日を忘れない/2	くりた陸	秋田書店
66	3.11 あの日を忘れない/3	ごとう和	秋田書店
67	3.11 あの日を忘れない/ 4	高瀬由香	秋田書店
68	3.11 あの日を忘れない / 5	あしだかおる	秋田書店
69	「地震予知」にだまされるな!	小林道正	明石書店
	3・11を超えて	河北新報社	
70	· -		無明舎出版
71	生存者	根岸康雄	双葉社
72	あのとき、大川小学校で何が起きたのか	池上正樹	青志社
73	さかな記者が見た大震災石巻讃歌	高成田享	講談社
74	言葉に何ができるのか	佐野真一	徳間書店
75	沈黙の海	菊田郁 	潮出版社
76	小説・震災後	福井晴敏	小学館
77	天災人災格言集	平井敬也	興山舎
78	大地震にそなえる自分と大切な人を守る方法	渡辺実	中経出版
79	みんなで考える図書館の地震対策 = Earthquake Disaster Management in Libraries	日本図書館協会	日本図書館協会
80	防災・災害対応の本質がわかる本	二宮洸三	オーム社
81	災害からみる防災・減災 Q&A	藤田嘉美	オーム社
82	原発事故・全町避難大熊町学校再生への挑戦	武内敏英	かもがわ出版
83	復興は現場から動き出す	上昌広	東洋経済新報社
84	復興に命をかける	村井嘉浩	PHP研究所
85	悲しみを乗りこえて共に歩もう	西村一郎	合同出版
86	東日本大震災スーパー復興案	町田守	文芸社
87	てんつく怒髪	落合恵子	岩波書店
88	ガールズ 1000 人のリアル震災体験	魔法のiらんど	アスキー・メディアワークス
89	災害時ケータイ&ネット活用BOOK	西田宗千佳	朝日新聞出版
90	今日もフツーにごはんを食べる	枝元なほみ	芸術新聞社
91	福島の空の下で	佐藤幸子 農業	創森社
92	福島原発事故はなぜ起きたか	井野博満	藤原書店
93	福島原発事故と放射能 Q&A	歴史教育者協議会	平和文化
94	福島原発で何が起きたか	田中三彦	岩波書店
95	日本人はなぜ大災害を受け止めることができるのか	大石久和	海竜社
96	ホタルよ、福島にふたたび	阿部宣男	アスペクト
97	これでわかるからだのなかの放射能	安斎育郎	合同出版
98	放射能汚染から命を守る最強の知恵	阿部一理	コスモトゥーワン
99	プロメテウスの罠/4(徹底究明!福島原発事故の裏側)	朝日新聞社	学研パブリッシング
-55	プロメテウスの罠/3(福島原発事故、新たなる真実)	岩﨑賢一	学研パブリッシング

### Bセット

No	タイトル(巻次/版)	著者	出版者
01	プロメテウスの罠/2(検証!福島原発事故の真実)	朝日新聞社	学研パブリッシング
02	プロメテウスの罠	朝日新聞社	学研パブリッシング
03	基本を知る放射能と放射線	藤高和信	誠文堂新光社
04	死の淵を見た男	門田隆将	PHP研究所
)5	女たちの3・11	坂田雅子	オフィスエム
06	ドイツに学ぶ地域からのエネルギー転換		家の光協会
07	原発はなぜ日本にふさわしくないのか	竹田恒泰	小学館
08	原発にしがみつく人びとの群れ	小松公生	新日本出版社
09	「節電女子」の野菜レシピ!	矢野きくの	アスコム
10	終りのない惨劇	ミシェル・フェルネクス	
11	原発はやっぱり割に合わない	大島堅一	東洋経済新報社
12	ある歌人の「脱原発」二十余年の手記から	今全楽	
13	IT時代の震災と核被害	編集部	インプレスジャパン
14	エネルギーと放射線の授業	千葉保	太郎次郎社エディタス
15	原発と震災	石橋克彦	岩波書店
16	いまこそ私は原発に反対します。	佐々木譲	平凡社
17	日本のエネルギー、これからどうすればいいの?	小出裕章	平凡社
18	大停電 (ブラックアウト) を回避せよ!	夏目幸明	PHP研究所
19	原発裁判	桜井淳	潮出版社
20	それでも日本は原発を止められない	中野剛志	産経新聞出版
21	Japan レポート3.11	Brandner Judith	未知谷
22	日本の原発、どこで間違えたのか	内橋克人	朝日新聞出版
23	奇跡の生還	上部和馬	コスモトゥーワン
24	災害ボランティア・ブック	平凡社	平凡社
25	東日本大震災復興への提言	風見正三	東京大学出版会
26	被災、石巻五十日。	<u> </u>	国書刊行会
27	私は、あなたを忘れない	小田豊二	麗澤大学出版会
28	まげねっちゃ	まげねっちゃプロジェ	青志社
29	野崎洋光のおいしい節電レシピ	野﨑洋光	東洋経済新報社
30		創風社	創風社
31	ポスト3・11の子育てマニュアル	国永良喜	講談社
32	「つなみ」の子どもたち	森健	文藝春秋
33	海と、がれきと、ボールと、絆。 = sea, rubble, balls and Kizuna.	スタンダード編集部	講談社
34	子どもたちの未来を創るエネルギー	田中優	子どもの未来社
35	図解知らないではすまされない、エネルギーの話		ワック
36	原発一揆	針谷勉	サイゾー
37	原発と憲法9条	小出裕章	遊絲社
38	いま福島で考える	桜井勝延	桜井書店
39	明日へ	日本放送協会	NHK出版
40	- **プロ'、 - * ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	乙武洋匡	講談社
			<b>校成出版社</b>
41	のこされたあなたへ	一条真也	
42 43	啓け! 待たつづける動物たち	岩田やすてる	コスモの本
_	待ちつづける動物たち ラジオがつないだ命	太田康介 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	飛鳥新社
44			河北新報出版センター
45	震災の石巻 ーそこから	創風社	創風社
46	石巻赤十字病院の100日間	由井りょう子	小学館
47	がんばっぺし! ぺしぺしぺし!	戸羽太	大和出版
48	被災者に寄りそう医療	稲光宏子	新日本出版社
49	子どもたちの3.11	Create Media	学事出版



### Cセット

No	タイトル (巻次/版)	著者	出版者
1	いのちを守る	佐藤仁	へるす出版
2	3・11と私	石牟礼道子	藤原書店
3	東日本大震災から学ぶ「津波にも負けず」	森田武	近代消防社
4	あれからの日々を数えて	大野太輔	大月書店
5	活断層とどう向き合うか	常田賢一	理工図書
6	慈悲の怒り	上田紀行	朝日新聞出版
7	グリーフケア入門	山本佳世子	勁草書房
8	3・11後に心のフタが壊れてしまった人たち	堀之内高久	産経新聞出版
9	発達障害児者の防災ハンドブック	新井英靖	クリエイツかもがわ
10	「五強」防災立国論	佐藤信秋	産経新聞出版
1	これだけは知っておきたい原発事故と放射能の基礎知識	関根一昭	平和文化
2	原発事故緊急対策マニュアル	日本科学者会議	合同出版
3	脱原発・再生可能エネルギーとふるさと再生	村田武	筑波書房
4	原発・放射能図解データ	野口邦和	大月書店
5	新エネルギー	大和総研	アスキー・メディアワークス
6	3.11絆のメッセージ	<b>亀松太郎</b>	東京書店
7	日本人は原発とどうつきあうべきか	田原総一朗	PHP研究所
8	聞き書き震災体験	高倉浩樹	新泉社
9	それでも彼女は生きていく	山川徹	双葉社
20	福島県民23人の声	武田悦江	歴史春秋出版
21	津波からの生還	三陸河北新報社	旬報社
22	東日本大震災を生き抜く		つり人社
23	ボランティア僧侶	藤丸智雄	同文舘出版
24	石巻・にゃんこ島の奇跡	石丸かずみ	アスペクト
25	語り継ぎたい。命の尊さ/新版	住田功一	学びリンク
26	心のおくりびと東日本大震災復元納棺師	今西乃子	金の星社
27	災害支援と地域づくり	京都民医連中央病院	せせらぎ出版
28	震災1年全記録	朝日新聞社	朝日新聞出版
29	東日本大震災	132-1411 312	読売新聞東京本社
30	読売新聞記者が見つめた東日本大震災300日の記録	*	読売新聞東京本社
31	復活への記憶東北ふるさとのアルバム	マガジンハウス	マガジンハウス
32	東日本大震災原発事故ふくしま1年の記録	福島民報社	福島民報社
3	東日本大震災消防レスキュー写真で見る88日間の活動全記録	IBEDICTRIE	イカロス出版
34	東日本大震災		読売新聞東京本社
35	東日本大震災茨城全記録		茨城新聞社
35 36	東日本大震災 2011.3.11 特別報道写真集 1カ月の全記録		京都新聞出版センター
30 37	天皇皇后両陛下被災地の人々との心の対話/第2版		小学館
88	FUKUSHIMA×フクシマ×福島	型型	新日本出版社
39	ひんの3 川がスペンノンマペ 福島 みやぎの海辺思い出の風景	기가 가까 나다	河北新報社
10	M9.0東日本大震災ふくしまの30日	福島民報社	福島民報社
+U 11	気仙沼に消えた姉を追って	生島淳	文藝春秋
12	式川山石に用えた刈りを担う C 詩の礫	和合亮一	徳間書店
12 13	部の味 絶望の隣は希望です!	やなせたかし	小学館
14 14	# 非常時のことば	高橋源一郎	朝日新聞出版
15 16	あれから	振万智	今人舎
16	ドキュメント震災三十一文字	日本放送協会	NHK出版
17	つなみ風花胡桃の花穂	佐藤フミ子	
18	帝望の木	新井満	大和出版
19	果てなき荒野を越えて	高橋佳子	三宝出版

### Cセット

Cセッ		* *	HIJE +v
No	タイトル (巻次/版)	著者	出版者
51	海は憎まず	穂高健一	日新報道
52	3・11万葉集復活の塔 = March 11 Man'yoshu FUKUSHIMA "Tower of the Resurrection"	彦坂尚嘉	彩流社
53	がれきの中で本当にあったこと	産業経済新聞社	産経新聞出版
54	惑星 (ほし) の祈り	久野わか	女子パウロ会
55	東日本大震災緊急災害対策本部の90日	小滝晃	ぎょうせい
56	あなたの住まいの震災対策Q&A	不動産コンサル21研究会	清文社
57	3.11 (さんてんいちいち) 被災地の証言	情報支援プロボノプラットフォーム	インプレスジャパン
58	正しい被曝医療 Q&A50		診断と治療社
59	フクシマから学ぶ原発・放射能/普及版	安斎育郎	かもがわ出版
60	目で見て分かる! 放射能と原発	澤田哲生	双葉社
61	安斎育郎先生の原発・放射能教室/第3巻(放射能からいのちを守るために)	安斎育郎	新日本出版社
62	安斎育郎先生の原発・放射能教室/第1巻(放射線と放射能を学ぼう)	安斎育郎	新日本出版社
63	いま原発で何が起きているのか		京都新聞出版センター
64	いま原発で何が起きているのか		河北新報出版センター
65	いま原発で何が起きているのか		北海道新聞社
66	子ども白書 2011	日本子どもを守る会	草土文化
67	希望の桜。3.11東日本大震災	鴨志田孝一	講談社
68	仮設のトリセツ	岩佐明彦	主婦の友社
69	フリスビー犬、被災地をゆく	石川梵	飛鳥新社
70	生きてやろうじゃないの!	武澤順子	青志社
71	津波、命がけの絆	于強	泰文堂
72	東日本大震災の科学	小原一成	東京大学出版会
73	ふくしまに生きるふくしまを守る	福島県警察本部	福島県警察互助会
74	大学の現場で震災を考える	三野博司	かもがわ出版
75	忘れない。		大和書房
76	ふたたび、ここから		ポプラ社
77	女たちが動く	やはたえつこ	生活思想社
78	「いのち」を伝える学校講話		教育開発研究所
79	チェルノブイリから学んだお母さんのための放射能対策BOOK	野呂美加	学陽書房
80	ボクが東電前に立ったわけ	園良太	三一書房
81	放射能を背負って		朝日新聞出版
82	フクシマの王子さま	椎根和	芸術新聞社
83	3・11福島から東京へ	東京災害支援ネット	山吹書店
84	「内部被ばく」こうすれば防げる!	漢人明子	文藝春秋
85	放射線災害と向き合って		ライフサイエンス出版
86	放射能地震津波正しく怖がる100知識	河田恵昭	集英社
87	助えずにも長年版上のくIIIが、3 100 AI職 闘う市長		徳間書店
88	どう身を守る? 放射能汚染	渡辺雄二	緑風出版
89	3・11複合被災	外岡秀俊	岩波書店
90	3・11 複合依火 僕はしゃべるためにここへ来た	外	石灰青店   産経新聞出版
			+ .
91	原発列島/増補版	向中野義雄 	大月書店
92	震災から一年後の被災地レボート		PHPパブリッシング
93	ハッピーバースデイ3.11	並河進 	飛鳥新社
94	あきらめない街、石巻その力に俺たちはなる	佐々木亨	ベースボール・マガジン社
95	233 1/4 1 1 2 3 4 1	シュープレス株式会社	小学館
96	3.11以後を生きるヒント	三好亜矢子	新評論
97	ルポ原発難民	<b>粟野仁雄</b>	潮出版社
98	封印された震災死その「真相」	吉田典史	世界文化社
99	瓦礫にあらず	葉上太郎	岩波書店
100	被災地を歩きながら考えたこと	五十嵐太郎	みすず書房



33

### Cセット

No	タイトル (巻次/版)	著 者	出版者
101	東北の震災と想像力	鷲田清一	講談社
102	日本人は知らない「地震予知」の正体	Geller Robert J	双葉社
103	だけど、くじけない	長倉洋海と東北のこどもたち	NHK出版
104	3・11から考える「家族」	真鍋弘樹	岩波書店
105	おもかげ復元師	笹原留似子	ポプラ社
106	何が来たって驚かねえ!	有田芳生	駿河台出版社
107	証言記録東日本大震災	日本放送協会	NHK出版
108	津波の夜に	大西暢夫	小学館
109	大江戸災害ものがたり	酒井茂之	明治書院
110	福島の原発事故をめぐって	山本義隆	みすず書房
111	これだけ知っていれば安心! 放射能と原発の疑問50	伊藤公紀	日本評論社
112	原発のない世界へ	小出裕章	筑摩書房
113	チェルノブイリの祈り	Aleksievich Svetlana	岩波書店
114	東京の3・11	都政新報社	都政新報社
115	チェルノブイリ原発事故がもたらしたこれだけの人体被害 = Health Effects of Chernobyl	松崎道幸	合同出版
116	原発ゼロ	安斎育郎	かもがわ出版
117	大学生がえがく脱原発の未来マニュアル	フェリス女学院大学エコキャンパス研究会	東京新聞
118	福島は訴える	福島県九条の会	かもがわ出版
119	原発テレビの荒野	加藤久晴	大月書店
120	なぜ即時原発廃止なのか	西尾漠	緑風出版
121	原発問題に「無関心」なあなたへ。	田中優	キラジェンヌ
122	高校生からわかる原子力	池上彰	ホーム社
123	考えてみようよ原発のこと/改訂版	原子力資料情報室	原子力資料情報室
124	備える! 3・11から	中日新聞社	
125	しおかぜ荘の震災	木村航	双葉社
126	3.11を心に刻んで	岩波書店	岩波書店
127	駐在記者発大槌町震災からの365日	東野真和	岩波書店
128	いま注意すべき大地震	木村政昭	
129	東北の生命力	瀬戸山玄	岩波書店
130	人が死なない防災	片田敏孝	 集英社
131	学校防災最前線	版根健二 	教育開発研究所
132	震災から身を守る52の方法	レスキューナウ	アスコム
133	待ったナシの防災習慣	橋本真希	文芸社
134	あなたは、次の災害で生き残れますか?	   半田亜季子	近代消防社
135	東日本大震災と社会教育		国土社
136	震災復興と自治	   増田寛也	東京市政調査会
137	東日本大震災からの復興と教育方法		図書文化社
138	大震災を生き抜くための食事学	石川伸一	主婦の友インフォス情報社
139	東日本大震災と学校教育	<b>笹川正</b>	かもがわ出版
140	地震大国の防災を考える	目黒公郎	自由国民社
141	地震停電放射能みんなで生き抜く防災術	小学館	
142	世界が日本のことを考えている	ウ・ブニャ・サラ	太郎次郎社エディタス
143	3.11からの復興と日本経済再建の構想	藤田実	かもがわ出版
144	必ず復興する日本のシナリオ	長谷川慶太郎	ポプラ社
145	東日本大震災からの復興覚書	伊藤滋	万来舎
146	原発依存と地球温暖化論の策略	中野洋一	法律文化社
147	防災白書 平成24年版	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	日経印刷
148	防災白書 平成23年版	内閣府 編集	佐伯印刷
149	災害一その時学校は	日本安全教育学会	ぎょうせい
150	被災地の聞き書き101	東京財団	東京財団

### Dセット

No	タイトル (巻次/版)	著者	出版者
1	PRAY FOR JAPAN	prayforjapan.jp (編)	講談社
2	「あの日」からぼくが考えている「正しさ」について	高橋源一郎	河出書房新社
3	メディアと原発の不都合な真実	上杉隆	技術評論社
4	原子力報道	柴田鉄治	東京電機大学出版局
5	原発とメディア	上丸洋一	朝日新聞出版
6	3・11以前:美しい東北を永遠に残そう	「3・11以前」写真集プロジェクト事務局(編)	小学館
7	ファインダー越しの3・11	安田菜津紀	原書房
8	朝日新聞縮刷版 東日本大震災	朝日新聞社	朝日新聞社
9	新山利岡州県が成 米山本八展次 Tsunami 3・11 (落丁有)	豊田直巳	第三書館
10	いま原発で何が起きているのか:原発震災の100日	豆田巨G	中国新聞社
	南三陸から〈vol.2〉2011.9.11~2012.3.11	/ <del>-</del> / → 本 / =	
11		佐藤信一	ADK 南三陸町復興支援プロジェクト
12	Tsunami 3 · 11 / part2	第三書館編集部(編)	第三書館
13	3/11 キッズフォトジャーナル	3/11 Kids Photo Journal (編)	講談社
14	再び、立ち上がる!	河北新報社	筑摩書房
15	南三陸日記	三浦英之	朝日新聞出版
16	闘う東北 - 1997年	小寺陽一郎	朝日新聞出版
17	女川佐々木写真館	鈴木麻弓	一葉社 
18	南三陸から = PHOTO LETTER FROM MINAMI SANRIKU	佐藤信一	ADK南三陸町復興支援プロジェクト
19	TSUNAMI 3·11 / PART3 (東日本大震災「被災一周年」記録写真集)	第三書館編集部(編)	第三書館
20	災害弱者と情報弱者	田中幹人	筑摩書房
21	原発報道とメディア	武田徹	講談社
22	鎮魂と抗い	山本宗補	彩流社
23	検証 東電テレビ会議	朝日新聞社	朝日新聞出版
24	ドキュメント テレビは原発事故をどう伝えたのか	伊藤守	平凡社
25	原発崩壊	樋口健二	合同出版
26	Courrier Japon (クーリエ ジャポン)		講談社
27	原爆と原発木ピの聖なる預言	小原田泰久	学研パブリッシング
28	暴走する原発	広河隆—	小学館
29	こうして原発被害は広がった	Read Piers Paul	文藝春秋
30	原発アウトロー青春白書	久田将義	ミリオン出版
31	「脱原発」成長論	金子勝	筑摩書房
32	日本一わかりやすいエネルギー問題の教科書	水野倫之	講談社
33	孫正義のエネルギー革命	孫正義	PHP研究所
34	原発と権力	山岡淳一郎	筑摩書房
35	原発のどこが危険か/新版	桜井淳	朝日新聞出版
36	原発労働記	堀江邦夫	講談社
37	みんなの原子力発電	青山智樹	総合科学出版
38	図説危険な話/復刻	ふゅーじょんぷろだくと	ふゅーじょんぷろだくと
39	原発崩壊:想定されていた福島原発事故/増補版	明石昇次郎	金曜日
40	福島原発の真実	佐藤栄佐久	平凡社
41	原発と、危ない日本(にっぽん)4つの問題	武田邦彦	大和書房
42	原発と陰謀	池田整治	講談社
43	原発のない世界のつくりかた	「脱原発世界会議」実行委員会(編)	合同出版
44	海江田ノート	海江田万里	講談社
45	脱原発の市民戦略	上岡直見	緑風出版
46	原発事故と食品安全	遠藤保雄	農林統計出版
47	原発を拒み続けた和歌山の記録	汐見文隆	寿郎社
48	証言 細野豪志	細野豪志	講談社
49	ゴーマニズム宣言 SPECIAL 脱原発論	小林よしのり	小学館
73	- 、一ハムニロ OI LOINL 加添元間	13 1/10 C C C C	口・丁・口



35

### Dセット

No	タイトル (巻次/版)	著者	出版者
51	原発と拳銃	杉浦昭嘉	祥伝社
52	3.11の記録/原発事故篇	「3.11の記録」刊行委員会	日外アソシエーツ
53	わたしはゼッタイに負けない!!	石橋孝子	柴田書店
54	274人のアンケートから考えた大震災・放射能汚染3.11以後の備える・守る家族のための防災BOOK	武田邦彦、細川顕司(共著)	じゃこめてぃ出版
55	フクシマ/ヒロシマランニング	前島幹雄	彩流社
56	3.11の衝撃震災・原発特報部は伝えた	東京新聞(編)	東京新聞
57	クロニクル Fukushima	大友良英	青土社
58	ノーモア・フクシマ世紀の核惨事	浦上深作	あかね図書販売
59	@Fukushima	高田昌幸	産学社
60	チェルノブイリの菜の花畑から	川田昌東	創森社
61	福島原発事故放射線の不安や疑問に答えます	田邉裕	文芸社
62	福島核災棄民	若松丈太郎	コールサック社
63	放射能を基本から知るためのキーワード84	Biddle Wayne	河出書房新社
64	放射線被ばくから子どもたちを守る	松井英介	旬報社
65	サイレントウォー	今中哲二	講談社
66	肥田舜太郎が語るいま、どうしても伝えておきたいこと	肥田舜太郎	日本評論社
67	放射能生活の注意事項	船瀬俊介	三五館
68	自分と子どもを放射能から守るには	Babenko Vladimir	世界文化社
69	手にとるように環境問題がわかる本		かんき出版
70	放射線・放射能がよく分かる本	多田順一郎	オーム社
71	どうする? 放射能ごみ/増補改訂新版	西尾漠	緑風出版
72	放射能汚染の現実を超えて	小出裕章	河出書房新社
73	カウントダウン・メルトダウン(上)	船橋洋一	文藝春秋
74	カウントダウン・メルトダウン(下)		文藝春秋
75	おしえて! もんじゅ君	大島堅一	平凡社
76	No NUKES 2012	坂本龍一	小学館スクウェア
77	官邸の100時間	木村英昭	岩波書店
78	核の力で平和はつくれない	市民意見広告運動(編)	合同出版
79	息子は死んだ:嶋橋原発被曝労災認定までの記録	嶋橋美智子	新読書社
80	ゴン太ごめんね、もう大丈夫だよ!	山路徹と救出チーム(編)	光文社
81	とんがりあたまのごん太	仲本剛	光文社
82	東日本大震災語られなかった国交省の記録	道下弘子	JDC出版
83	東日本大震災を読む!	長谷川慶太郎	李白社
84	地域のレジリアンス	トーマス・エルムクヴィスト、香坂玲(編)	清水弘文堂書房
85	大災害に立ち向かう世界と日本	「大災害と国際協力」研究会著	佐伯印刷
86	大震災後の社会学	遠藤薫	講談社
87	3.11 クライシス!	佐藤優	マガジンハウス
88	大津波と原発	内田樹	朝日新聞出版
89	巨大地震リアルシミュレーション	久保範明	永岡書店
90	津波の後の第一講	鵜飼哲	岩波書店
91	東日本大震災と知の役割	片谷教孝	型型
92	「心の財」はこわされない	佐藤千昌	潮出版社
93	ふたつの震災	西岡研介、松本創	講談社
94	消防団の闘い	日本消防協会	近代消防社
95	3.11 を読む	松岡正剛	平凡社
		岩本由輝	
96	歴史としての東日本大震災		刀水書房
97	巨大津波:その時ひとはどう動いたか	NHKスペシャル取材班	岩波書店
98	東日本大震災と日本	関西学院大学災害復興制度研究所、高麗大学校日本研究センター(共編)	関西学院大学出版会
99	語り継ぐいいおか津波	光と風キャンペーン実行委員会 (編) 	三恵社 技術評論社

### Dセット

No	タイトル (巻次/版)	著者	出版者
101	連鎖する大地震	遠田晋次	岩波書店
102	命のバトン 津波を生きぬいた奇跡の牛の物語	堀米薫	石版自内
03	ナガサレールイエタテール	ニコニコルソン	太田出版
03	震災キャラバン	高嶋哲夫	集英社
105	誰かのためにできること	山本明文	商業界
106		アスコム(編)	アスコム
107	YELL!: 東日本大震災チャリティーブック: がんばろう日本!		
	同伴避難	児玉小枝	日本出版社 却只觉先来思处
108	震災が教えてくれたこと	今野公美子	朝日学生新聞社
109	災害ストレスから子どもの心を守る本	内海裕美	河出書房新社
10	原発推進者の無念	北村俊郎	平凡社
11	石が叫ぶ福音:喪失と汚染の大地から	林尚志	岩波書店
12	「脇役」たちがつないだ震災医療	辰濃哲郎 	医薬経済社
13	悲しんでいい	高木慶子	NHK出版
14	ボランティアナースが綴る東日本大震災	全国訪問ボランティアナースの会キャンナス(編)	三省堂
15	巨大地震から子どもを守る50の方法	国崎信江	ブロンズ新社
16	海の見える病院 語れなかった「雄勝」の真実	辰濃哲郎 	医薬経済社
17	ナース発東日本大震災レポート	日本看護協会出版会編集部 (編)	日本看護協会
18	東日本大震災石巻災害医療の全記録	石井正	講談社
19	石巻赤十字病院、気仙沼市立病院、東北大学病院が救った命	石丸かずみ	アスペクト
20	原子力災害からいのちを守る科学	小谷正博	岩波書店
21	危機突破リーダー	仲摩徹彌	草思社
22	グローバル社会のコミュニティ防災	吉富志津代	大阪大学出版会
23	大震災サバイバルハンドブック	くぼうちのぶゆき	アスペクト
24	これ1冊でできる! わが家の防災マニュアル	国崎信江	明治書院
25	震災のときあったらいいもの手帖	チーム住まいと暮らし	住まいの学校
26	生活防衛ハンドブック:食品編	小若順一	講談社
27	漂流被災者:「人間復興」のための提言	山中茂樹	河出書房新社
28	日本人はなぜ震災にへこたれないのか	関裕二	PHP研究所
29	復興の祈り:東北地方太平洋沖地震被災者応援メッセージ集	復興の祈り編集部 (編)	国民みらい出版
30	復興への一年:3.11 大震災・原発災害の記録2	橋本絋二	農村漁村文化協会
31	復興を取り戻す:発信する東北の女たち	萩原久美子、皆川満寿美、大沢真理(編)	岩波書店
32	いま「原発」「復興」とどう向き合えばいいのか	村井嘉浩	PHP研究所
33	「3.11」からの再生:三陸の港町・漁村の価値と可能性	河村哲二、岡本哲志、吉野馨子(編著)	御茶の水書房
34	震災・ガレキを越えてカマやんの夢畑	ありむら潜	明石書店
35	東日本大震災と被災者支援活動	愛知東邦大学地域創造研究所(編)	唯学書房
36	検証東日本大震災の流言・デマ	荻上チキ	光文社
37	東日本大震災ぎふ支援の記録	岐阜新聞社(編)	岐阜新聞社
38	東日本大震災被災者とボランティア声のアルバム 100	東京ボランティア市民活動センター	│ │ 東京都社会福祉協議会東京ボランティア・市民活動センタ
39	3・11に問われて:ひとびとの経験をめぐる考察	葉上太郎(ほか著)	岩波書店
40	3・11 慟哭の記録	金菱清	新曜社
41	大学生、ボランティアの襷をつなぐ	神奈川大学 (編)	御茶の水書房
42	シンヂ、僕はどこに行ったらええんや	喜国雅彦	双葉社
43	震災日録:記憶を記録する	森まゆみ	岩波書店
44	大震災でわかった学校の大問題	大森直樹	小学館
45	自衛隊かく闘えり	井上和彦	双葉社
46	〈核発電(ゲンパツ)〉を問う:3・11後の平和学	戸田清	法律文化社
46			
41	災害とロボット = Disaster and Robot	井上猛雄	オーム社
48 49	フラガール3.11: つながる絆 道化師が動いた!: テントサーカスのはじまり、はじまり。	大棟耕介	生産性出版



## ご参加いただいた図書館の皆様へ

### 気仙沼図書館

### 館長 吉田 睦美 様

「笑顔を届けるプロジェクト」の最後の活動として、プロジェクトで収集した貴重な震災関連図書1,426冊を3月に当館にご寄贈いただき、「笑顔文庫」と命名しました。専用の書架と笑顔マークの図書ラベルも寄贈いただき、震災という重いテーマの本ですが、明るく利用しやすいコーナーになりました。児童・生徒の皆さんからの被災地への応援メッセージカード1,634枚も寄贈いただき、フォルダーケースで展示しており、利用者が興味深くご覧になっています。東京新宿ロータリークラブ様からも震災関連の新刊図書201冊をご寄贈いただき、震災直後に出版され、今では入手できない貴重な図書とともにより充実した文庫となりました。

今後、震災を風化させずに次世代へと記憶をつなぎ、これからの防災教育に役立つ資料として、有効活用してまいります。「笑顔を届けるプロジェクト」は、全国からの温かい 声援をのせ、気仙沼市民に本とともに笑顔を届けてくださいました。改めて、キハラ株式 会社様はじめ、関係者の皆様に御礼申し上げます。

## 公益社団法人全国学校図書館協議会 設楽 敬一 様

長きにわたりご尽力を続けた「笑顔を届けるプロジェクト in school library」に心より 敬意を表します。併せて、当会の復興支援活動「学校図書館げんきプロジェクト」に学校 図書館管理ソフト「ELISE-Egg 3 Kizuna」とラベルを100セットご寄贈いただき感謝いた します。

当時、被災した学校は、寄贈図書の整理に困惑していました。その折に、学校図書館管理ソフトとラベルが届き、多くの学校から感謝の言葉が寄せられました。昨年から今年にかけて震災の記録を後世に伝える出版が増えています。更に、日々の災害に備えた防災教育の重要性は周知の事実となっています。

「笑顔を届けるプロジェクトin school library」の活動を通して、震災の記憶を風化させることなく、後世に伝える貴重な資料を積み重ねることができたものと確信しています。

## 日本出版クラブ 事業担当 杉山 知隆 様

2011年3月11日に発生した東日本大震災の直後、出版界が一丸となって震災復興をと、出版関連団体により〈大震災〉出版対策本部が発足しました。

その活動のひとつとして、2年後の夏、被災地の惨状や人々の苦悩を忘れぬようにと、震災後に地震災害や原発事故をテーマに、全国の出版社や新聞社が発行した約1400点の出版物を展示する「3.11以降の全出版記録『本の力』展」がキハラ株式会社の協力により日本出版クラブで開催されました。会期中に訪れた多くの来場者からは、「震災関連本を一堂に集めたライブラリーは貴重だ、今後のためにも、より多くの人が閲覧できるように常設展示ができないか」との要望が連日寄せられました。その声を受けて、「自社の創立記念事業として引継ぎ、震災関連書籍を全国公共図書館・大学図書館に巡回展示を」と木原祐輔会長よりお申し出いただき、やがてその活動は小・中・高等学校図書館を巡る「笑顔を届けるプロジェクト in school library」へと発展し、以来弛まぬ全国巡回を続けられました。

読者から寄せられたメッセージカードを拝読させていただき、3.11を忘れまい!と出版界が送り出した渾身の出版物、その「本の力」を余すことなく活かし、日本全国に伝え続けて下さったこのプロジェクトにこの場をお借りして心より感謝申し上げます。

## 東京新宿ロータリークラブ 補助金委員長 大谷 昌義 様

東日本大震災から10年が経過し、街は再建され高速道路の開通等インフラも整備され 復興が進んでいるが、風化が進んでいるのも事実である。一方で、震災にかかわる新しい 事実も解明されており、被災地ではもちろんのこと、震災の記録を伝承していくことは重 要なテーマとなっている。

今回、復興支援の一環として震災の事実が記載された書籍という長期保存ができる有形のものを活用することにより、事実、教訓等の記録を残し、かつ防災についての関心が浸透してきた昨今では、今後に有効活用してもらいたいと考える。

東日本大震災に関する書籍を被災地であり、復興のシンボルとして建設された、市民とともに活動している気仙沼図書館に少しでも復興の力になれたらと思い、笑顔文庫の新規購入書籍201冊を寄贈させていただいた。気仙沼図書館を訪れる多くの方にご利用いただきたい。



### 編集後記

# 笑顔を届けるプロジェクト in school library 震災関連図書 開催を終えて

忘れがたい東日本大震災から10年という節目の年を迎えました。テレビを通して見た、まるで生き物のように黒々とした大きな波が町をのみ込みすべてを破壊してゆく恐ろしいさまを今も鮮明に思い出します。

その後も日本各地で台風による風水害等、自然災害に見舞われてきました。そんな中「笑顔を届けるプロジェクトin school library」は全国の小中高校で展開されてきました。 地震大国といわれる島国日本に住む私たちは、自然災害に備えるために何を知るべきでしょうか。

プロジェクトを通じてそれまで持っていた情報をはるかに超える実情を知ることとなった小中高生の驚愕。そして、その心にあふれ出る思いやりをメッセージカードを通して感じることができます。自分からは遠い地域の出来事だと考えていたことが、いつわが身にふりかかるか、豊かな想像力も発揮します。それぞれ同世代の被災者に真摯に向き合い「ひとりじゃないよ」と心の中で呼びかけています。

人と人との別れだけではなく共に暮らしてきたペットとの別れもありました。高齢者の苦しみ、届きにくい小さい子供たちの声をどう拾いあげるか、この展示会を通してさまざまなことを知ることができたのです。

災害をなくすことは出来ません。いつかやってくるであろう災害、その時は容赦なく それまでの日常が失われ、愛しい人との別れもあるのです。だからこそ、その時どう行動 するか、日頃から意識することの重要さは言うまでもありません。避難訓練等を通じて学 校で学ぶことが大切です。今や自然災害に加え感染症の蔓延という地球規模の災害さえ発 生しています。プロジェクトそのものはひとつの区切りを迎えますが、「止めることがで きないが、備えることはできる災害」についてこれからも若い情熱と実行力を信じたいと 思います。

齋藤 紀子

# RKIHARA 🗐

主催 笑顔プロジェクト製作委員会

協力 <大震災>出版対策本部

日本通運株式会社 千葉支店

発行: 2021年7月

ISBN 978-4-87377-013-0

お問い合わせ先: キハラ株式会社 03-3292-3301

